

確かな学力を支える「学びに向かう力」の育成

～読解力の向上を基盤とした学習指導を通して～

平成29年度 大津町小中学校共通実践事項

- (1)話し手に体を向けて聞く (2)「めあて」と「まとめ」の明示
(3)家庭学習の習慣化 (4)県学力調査に向けた課題克服プリントの計画的活用

6月29日(金)
徳淵

20日(水)の米多先生の国語科の大研についての通信です。(米多先生、遅くなってごめんよ～) まず、事後研の研究協議を中心にまとめます。その後、学校研究から見た、成果と課題についてまとめていきます。

6月20日(水) 6年 国語科 「風切るつばさ」

今回の授業のめあては、「クルルの気持ちが一番沈んでいるのはどの場面か。」

まとめは「一番沈んでいるのは5の場面。『ゆいいつ』『最後…』という言葉があり、クルル一人しかいない場面だから。」でした。

<研究協議より>

全文プリントを使った意図。

- ①メリットは物語全体を一目で捉えられる点。教科書をまたぐことで、分からなくなる児童もいる。全文プリントは自転車の補助輪的なもの。最終的には、全文プリントなしで読み進めていくことができるようになることが大事。
- ②教科書を使う場面もある。単元前半の範読や場面分けでは、教科書とその挿絵も扱っていく。

まとめについて。児童がそれぞれ根拠をもち、個々で答えとなる場面を選ぶのはどうだったか。

- ③今回は、「一番を決めさせる」というところがポイント。1つの発問で、2～6の場面を比較しながら読まなければいけない。1つの発問で、物語全体を見る学習場面を設定したかった。
- ④答えを一つに絞ることで、児童に納得させ、国語にも原理原則にしたがって読むことで、答えが見えることを伝えたい。

児童の意見交換の場面について

- ⑤はじめに3の場面と答えていて、後で5の場面が変わった児童もいた。
- ⑥生活経験と重ねて、「理由」をいう児童がいた。これはすごく大事なもののだが、今回のまとめまでの方向性を考えると、「根拠(表現)」に注目させる発問が必要だった。
- ⑦発表に対して、「分かりました。」+拍手の反応が一辺倒だった。

先生方の経験から

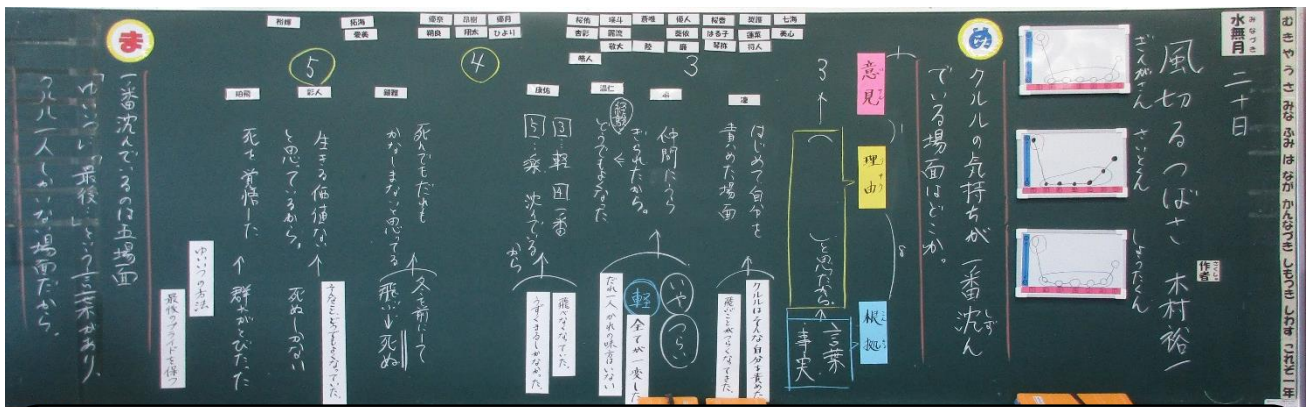
- ⑧小学生の頃、国語が嫌いだった。それは、「まとめ」に納得できないことが多かったから。今日のような問題解決型のめあてがあり、それに対するまとめだと、納得できる。
- ⑨自分は逆で、いろいろな読み方が認め合えるということが国語の好きな点だった。

＜学校の研究から見た成果○と課題△＞

- 問題解決型のめあては、効果的だった。めあてにより、学級の中で考えの対立・分化を引き起こすことができた。主体的・対話的な学びを引き出すための要素として、対立・分化する場面をどう作るかが重要になる。
- 根拠は全文プリントで見させ、理由等の児童の発言を記録していく板書のスタンスが効果的だった。1時間の思考が見える。
- △ ⑧・⑨の意見にあるように、根拠や理由を基に、答えを一つに絞っていく終わり方と、個々での読み方を認める終わり方の両方がある。
物語の内容を考える。1年間を見通し、その時期に学級でどんな読み方や学習場面を経験させるかを考える。 など、授業者が明確な意図をもっておく必要がある。
- △ ⑦から。児童の反応について。多様な反応を形成していくためには、モデルが必要。ただし、一番いいモデルは実際に児童の反応。児童のいい反応を授業者が認め、褒めることで、授業の雰囲気づくりにつながっていく。長期的に取り組むことが必要。
- △ 自分の考えを変容させられる授業展開ではあったが、最終的に教師のリードでまとめた。考えの変容のきっかけは、児童同士の関わり合いの中から見出させたい。

＜講 評＞（榎田教頭）

- ・授業者のねらいを授業のめあてにするべきではない。その点で、本時のめあての設定は、授業者が意図をもって設定し、児童の学習意欲を喚起するものだった。「心情の変化を読みとろう」ではおもしろくない。
- ・読み取りを苦手としている児童への手立てがなされていた。（めあての設定。同じ考えをもつ児童同士での意見交換の時間 等）



米多先生より

事後研では、たくさんのご意見ありがとうございました。本時では、問題解決型のめあてにより、全員意見を持ち、学習に参加できました。また、ペアや同じ意見をもつ人と対話する中で、考えを構築することができました。しかし、全体での対話では、深まりがあまりなく、考えを深化できなかったかなと思います。発言のコーディネート力が足りませんでした。今の段階では、「意見」「根拠」「理由付け」をしっかり言えることに重きをおいて授業をしています。これから、相手の発表を聞き、考えをつなげる作業に重きをおいていこうと思います。時間に余裕がなく、教師側で無理矢理まとめをもっていった点は反省点です。先生方のご意見を参考に、これから、夢のある国語教室を紡いでいきたいと思っています。